

教育文化学部 学校教育課程 カリキュラム・ツリー

基礎的科目 ← 人間発達に関わる知識・技能の修得 → 発展的科目

教材開発と
授業デザイン力の育成

カリキュラムポリシー
教育課程の編成・実施の方針

1. 学校教育を中心に、人間発達に関わる基礎的、理論的な知識・技能を重視し、歴史的、国際的、科学的な視野を育てるカリキュラムを構成する。
2. 4年間を通じて段階的に教育実践科目を位置づけることで、理論と実践との往還をはかりながら授業実践力を身につけられるカリキュラムを構成する。
3. 地域の課題、地域の特色を積極的に取り入れた教材開発と授業デザイン力の育成を目指したカリキュラムを構成する。
4. 学校園等を訪問し、教育、保育実践に参加するボランティアなど、大学と現場が密接に協力した授業などを設定する。
5. 自然科学や人文科学、芸術、スポーツに関する基礎的な知識・技能を育成するための授業を設定する。

【教育実践】英語教育
【理数教育】特別支援教育
【特別支援教育】こども発達

初等教科教育学(国語・社会・算数・理科・生活・家庭・音楽・図画工作・体育・英語)、中等教科教育学(国語・社会・地理歴史・公民・数学・理科・生活・家庭・音楽・美術・保健体育・英語) など
英語科教育学、英語学概論、英文学概論、初等英語科教育学、初等外国語、英語コミュニケーションⅡ、異文化理解Ⅰ など
初等科学、初等算数、初等理科教育学、理科教育学、初等算数科教育学、数学科教育学、基礎物理、基礎化学、基礎生物、基礎地学、微分積分、線形代数 など
障害児教育総論、障害者福祉論、発達障害病理概論 など
こども発達援助論、保育理論、保育の内容と方法Ⅰ、乳幼児の環境、乳幼児の言葉、乳幼児の表現 など

初等教科専門(国語・社会・算数・理科・生活・家庭・音楽・図画工作・体育・英語)、中等教科専門(国語・社会・地理歴史・公民・数学・理科・生活・家庭・音楽・美術・保健体育・英語) など
英語科教育学演習、英語学特論、英文学特論、初等英語科教育学演習、英語コミュニケーションⅣ、異文化理解Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ など
基礎物理実験、基礎化学実験、基礎生物実験、基礎地学実験、理科教育学演習、量子力学、気象学概論、有機合成実験、分子生物学実験、幾何学基礎、確率論、数学科教育学演習 など
知的障害児の心理学、肢体不自由児の心理・生理・病理、知的障害児心理学実験、知的障害児生理学実験、特別支援学校教育課程論、知的障害教育論Ⅰ・Ⅱ、病弱教育総論、肢体不自由教育総論、視覚障害教育総論、聴覚障害教育総論、重複障害教育総論、言語障害教育総論
乳児保育、幼児教育指導法、教育人間学、教育思想史、教育政策論演習、社会教育学、授業実践研究論、保育の内容と方法、保育の心理学、乳幼児保育演習、発達教育演習、教育学演習 など

教育実践ゼミナール
英語教育ゼミナール
理数教育ゼミナール
特別支援教育ゼミナール
こども発達ゼミナール

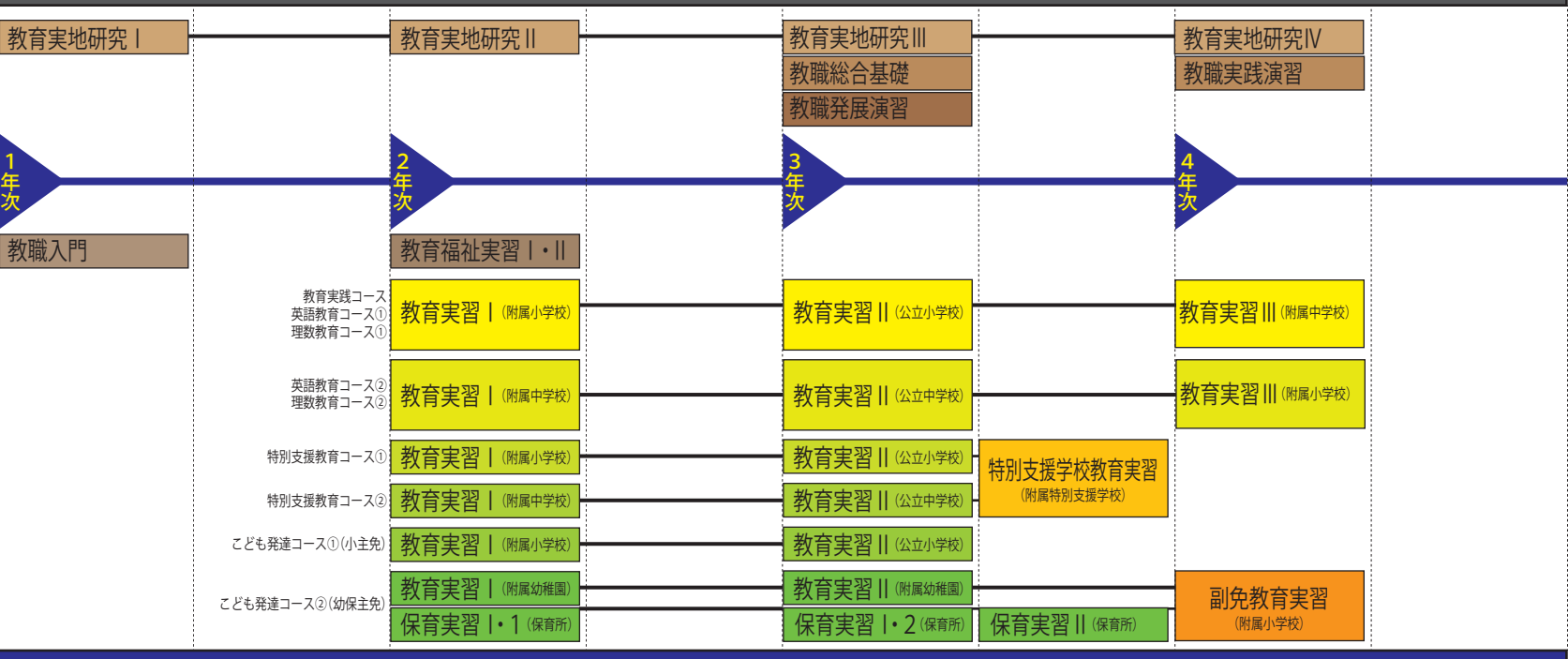
卒業研究

ディプロマポリシー
卒業認定・学位授与の方針

1. 学校教育に関する専門的知見を有し、地域の教育と人々の成長・発達を支え、発展させていこうとする使命感、責任感を有することができる。
2. 教育・学習にかかわる基礎的な理論や原理を理解するとともに、授業デザイン、教材研究、授業技術、実践省察など、基礎的な教育実践力を身につける。
3. 人間、特に子どもを深く共感的に理解し、個々の成長発達を支援するとともに、健全な集団・組織づくりに寄与することができる能力を身につける。
4. 子ども、保護者、地域住民、そして仲間とのコミュニケーション能力を有し、よりよい人間関係を構築していくことができる。
5. 自然科学や人文科学、芸術、スポーツが人間にもたらす価値を理解し、それらの創造・発展に寄与することができる。

【課程共通】
特別な教育的ニーズの理解とその支援、教育課程論、教育方法技術論、道徳教育論、総合的な学習の時間、特別活動論、幼児の理解と指導、生徒・進路指導の理論と方法、自然災害と防災教育、教授・学習の心理学、情報教育実践論

現場実践力育成
理論と実践との往還
教育実習系科目



初年次ゼミ 主題別科目1 主題別科目2 国際言語科目 スポーツ文化科目 等 人間形成論 教育経営論 生涯学習論 生涯発達心理学 保育の心理学 情報処理入門 等

教養教育科目

基礎教育科目

教養基礎教育科目